

生活支援体制づくり協議体（地域包括支援センター三和担当圏域レベル） 開催報告書	
1 開催日時	令和 8 年 2 月 10 日（火） 9 時 30 分 ～ 11 時 00 分
2 開催場所	東部保健福祉センター 2階 健康教育室・集団指導室
3 参加者	18名 委員 8名（飯田地区4名、白脇地区4名）、関係機関 5名、事務局 5名
4 協議の内容	<p>1.開会</p> <p>2.会長挨拶 飯田・白脇地区生活支援体制づくり協議体 会長</p> <p>3.協議紹介</p> <p>【情報提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●他地区の取り組み <ul style="list-style-type: none"> <li>・「新津協働センター リニューアルオープン」について</li> <li>・「可美地区 中学生による人形劇のお誘い」について 浜松市社協CSWより中学生が関わっている地域活動の取り組みを紹介。</li> </ul> </li> <li>【意見交換】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区における今後の取組について 地区ごとに分かれ、グループで意見交換を行った。</li> </ul> </li> <li>●飯田地区 <ul style="list-style-type: none"> <li>前回の会議の中で、地域住民へアンケートを行いニーズの掘り起こしを行っていくことについて委員全員の同意を得ることができたため、今回はアンケートを実施するにあたり、具体的な内容について浜松市社会福祉協議会が作成したアンケートのたたき台を基に意見交換を行った。</li> </ul> </li> <li>●対象について <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会に加入している全世帯配布。各世帯 1 枚のアンケートに回答してもらう。 →アパートの中には不動産会社、大家が自治会に加入しているだけで配布物が届かない場合がある。</li> </ul> </li> <li>●実施主体、協力について <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施主体は三和圏域生活支援体制づくり協議体、事務局として浜松市社会福祉協議会浜松地区センターとする。</li> <li>・協力は飯田地区自治会連合会、飯田地区社会福祉協議会とする。民生委員児童委員は直接配布や回収等に関わらないため協力団体に入れない。【趣旨】の中に民生委員の記載があるため、関わっていることはわかるのではないか。</li> </ul> </li> <li>●趣旨説明文について <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数人世帯の場合、誰が回答すればいいのかわかりづらい。</li> </ul> </li> </ul>

→【趣旨】の下から2段目「ご家族と話し合って」の前に「ご家族の代表の方が」を追加する。

●設問について

・問1の4.70代以上となっているが、今では元気な70代の方も多く、70代、80代、90代と一緒にするのはどうか。

→回答欄を4.70代、5.80代、6.90代以上にする。

・問3のその他の()を外す。

→()内に詳しく(内縁、兄弟など)記載することで世帯が特定される可能性がある。

・問4、問5、問6、問9に複数回答可を追記する。

・問5に移動に関する選択肢を入れる。

・問6ちょっとした手助けとは？

→具体的にわかりやすい選択肢を作り委員に確認していただく。

●アンケート配布時期について

・年度初めなら配布はやりやすい。

・自治会ごとに合わせて配布。

●回収について

→回収方法は自治会の特性に合わせて考える。

・アンケートにQRコードを入れてそこから回答することもできるようにすれば若い人の回答率が上がるのではないか。

●白脇地区

○中学生とともに考える会に向けて

・グループワークの冒頭にCSWから現在南部中学校と調整が出来ている内容を共有。

当日の流れとしては①あいさつ②自己紹介③地域の現状④白脇地区で行われている活動紹介⑤グループワークに分かれて意見交換 ①～⑥の順番で当日進めさせていただくことを説明。当日の流れ・必要があれば市社協で修正をさせていただくように協議。

・③地域の現状について高齢化率や白脇地区のスポット・特徴を紹介。資料として以前に白脇地区を紹介したリーフレットを作成したことがある。リーフレットを中学生に渡して紹介が出来るのではないかと、協働センターにリーフレットが配架されているため当日配布を行う。

・④活動紹介については白脇地区の地域団体を知らない中学生がいるかもしれないため団体の説明から、白脇地区社会福祉協議会と白脇シニアクラブの紹介を行う。協議体委員より説明。写真があった方が伝わりやすいとのことだったので当日の資料に写真を入れて紹介を行う。また今後の活動につながるようにジージバーバ食堂などの中学生に参加が促せるような内容紹介、地域でのたすけあいで行われている活動として家事支援活動の紹介もする。

●意見交換

・中学生より意見が出るようにしたい。福祉という視点を持っているのか、どこまで意識をしているのか。考えてもらうことが出来るきっかけづくりにつなげていきたい。

・各グループ8名程度、中学生は12名なので1グループに4人で3項目ほどを考えておく。南部中学校には教頭とCSWで事前に打合せを行うことになっているのでその際に事前共有を行う。

・主なグループワークの設問項目は市社協で担当。ただしあまり〇〇のためにと絞るよりも広く意見をいただけるような設問内容にする。→地域活動に参加するということがどの程度浸透しているのか、中学生が参加するためにはどのような活動が良いかなど。

・中学生が関われること・関わりやすいことは何なのか。中学生に求めていることを伝える必要があるかもしれない。地域ではシニアクラブの活動などで輪投げやサイコロダーツで審判が不足しているとの意見も挙がった。

●その他

- ・当日は駐車場が利用出来ない可能性がある、事前に確認が必要かもしれない。もし南部中学校に駐車して良ければ特に連絡をせず、中学校以外が駐車場所になる場合のみ再度連絡をさせていただくようになった。
- ・校長は地域との連携を求めている。今後学校側に協力をさせていただき、何が出来るのか検討が出来るかもしれない。
- ・まずは活動を知ってもらうなど小さな種まきから始める。交流が生まれることで見守り資源になるかもしれない。
- ・防災訓練に参加している中学生がいるかもしれない。いざという時の地域の力になるかもしれない。
- ・中学生が福祉をどのくらい考えているのか？  
どのくらい育っているのかを確認し、必要に応じては南部中学校に訪問をして福祉教育の時間をいただくことが出来ると良いかもしれない。

#### 4.令和 8 年度協議体委員の継続調査票について

- ・役職交代の可能性もあるため委員継続の調査を行った。その場で回収、まだ後任者が決まっていない団体は後日連絡をいただいて回収をすることを案内。

#### 5.連絡事項

#### 6.閉会

飯田・白脇地区生活体制づくり協議体 副会長

### 5 今後の見通し・ 必要な対応

#### 「白脇地区」

- ・中学生とともに考える会でどのような意見が出たのか共有。

その結果高齢者の暮らしに中学生をどう結び付けていくのか協議を行う。

#### 「飯田地区」

#### ◎今後の展開

- ・アンケート調査に向けた最終調整、また今後のスケジュールの協議を行う。